



2024年度

商工業振興に関する要望書

平素、苫小牧商工会議所の商工業振興への取組に関し、一方ならぬご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地元企業を取り巻く環境は、少子高齢化による働き手不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による多大な影響を受け、過去に例のない厳しい状況にあります。また、この状況が長期化することも危惧されます。

感染症対策と経済活動のバランスをとりながら、苫小牧の商工業振興が一層発展するために必要な事項を取りまとめましたので、令和6年度（2024年度）予算の編成に当たり、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

2023年4月26日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧商工会議所

会頭 宮本 知治



目次

要望事項	関係機関			ページ
	国	北海道	苫小牧市	
1 重点要望事項				
(1) 「苫小牧駅周辺ビジョン」並びに「苫小牧市スマートシティ構想」に基づいた駅周辺再整備の推進			○	1
(2) コロナ禍での事業継続に向けた支援	○	○	○	2
(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進	○	○	○	3
(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備	○			4
(5) カーボンニュートラル社会実現に向けた取組の推進	○	○	○	5
2 新規要望事項				
(1) 利便性向上に向けた道路整備等の推進	○	○	○	6
(2) 移住者増加のための施策			○	7
(3) 多文化共生社会の推進			○	8
(4) 持続的な地域価値向上を図るための財源確保			○	9
3 継続要望事項				
(1) 苫小牧を支える企業への支援策	○	○	○	10
(2) まちづくり・防災対策	○		○	11
(3) インフラの整備(道路・港湾・空港・鉄道・電力など)	○	○	○	13
(4) 雇用・人材育成	○	○	○	15
(5) 交流人口の増加と観光振興		○	○	16
4 参考資料				17
5 部会別索引				20

要望件数

重点要望事項 5 件 新規要望事項 4 件 継続要望事項 63 件 合計 72 件

回答基準

実現性		実行速度	
A	実現可能、又は実行中	A	本年度中、又は来年度 2年以内
B	実現に向けて検討中	B	3ヵ年計画、又は3年以内に実行
C	検討する	C	長期計画、又は計画中
D	見通し不明、又は不可能	D	実行なし

1-1 「苫小牧駅周辺ビジョン」並びに「苫小牧市スマートシティ構想」に基づいた駅周辺再整備の推進

●要望事項

- 1 旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現
- 2 旧サンプラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体
- 3 スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進
- 4 「苫小牧駅周辺ビジョン」に基づいたにぎわい創出事業の推進

●目的と効果

- 目的**
- ・平成26年の旧サンプラザビル閉鎖から9年ほどが経過しました。その間、苫小牧市は再整備に向け、様々な可能性を探り行動されておりますが、時間の経過とともに市民や経済界においても、閉塞感が広がりつつありました。
 - ・旧サンプラザビルにおいては、地代請求訴訟の和解が不成立となるなど不透明感が増していますが、訴訟結果によらず、一刻も早い権利集約が待たれます。
 - ・2021年3月に「苫小牧都市再生コンセプトプラン」が公表され、駅前周辺ビジョンの具体化が進められており、市民からは歓迎の声が寄せられております。また、2023年には苫小牧市スマートシティ構想がまとめられ、事業化に向けても進み出しています。これらの構想に基づいた駅前の再整備が推進されることで、「誇りと愛着が持てるまち」への前進が加速します。
- 効果**
- ・駅周辺以外の施設計画と連携した再整備構想が策定されることで、相互に人の流れが生まれるなど相乗効果が見込まれ、また、デジタル技術で暮らしや経済活動の利便性が高まり、拠点としてのまちなか形成が推進されます。

閉鎖から9年余りが経過した旧サンプラザビル



老朽化のため閉鎖された駅前バスターミナル



1-(2) コロナ禍での事業継続に向けた支援

●要望事項

- 1 事業継続を図る中小・小規模事業者に対する事業継続や経営力強化に対する支援
- 2 コロナ禍に立ち向かい、成長を目指して挑戦する中小・小規模事業者への支援
- 3 ウィズコロナやアフターコロナを前提とした社会経済活動への移行推進

●目的と効果

- 目的**
- ・長期化する新型コロナウイルス感染症流行により、経済活動の停滞が生じ、業種規模を問わずあらゆる事業者において、需要の減少、業績や資金繰りの急速な悪化など極めて厳しい状況が続いています。特に地域経済や雇用を支える中小・小規模事業者においては、事態の収束が見えない中で将来の展望を抱けず、廃業を検討している事業者も数多くおります。
 - ・コロナ禍で苦しむ中小企業の事業継続にくわえ、本質的な経営課題解決と抜本的な経営改善が早期に必要であり、具体的には、事業継続・経営力強化に対する支援や、コロナ禍に立ち向かい、成長を目指して挑戦する中小・小規模事業者の後押し、さらには安全・安心を確保した経済活動の再開支援が切望されます。
 - ・新型コロナウイルスの収束が見通せない中、従来型の経済活動の自粛と補償といった対策と支援では、財政的への悪影響など限界が見えつつあります。ウィズコロナを前提とした社会体制、アフターコロナの経済体制へ移行するため、過去の検証や規制の緩和など、新しい視点にたった総合的な検討が求められています。
- 効果**
- ・支援策を迅速かつ継続的に行うことにより、企業が外部環境の変化に円滑に対応することができ、事業の継続、雇用の維持が図られます。
 - ・ウィズコロナやアフターコロナを前提とした経済活動により自律的な地域経済の活性化、回復が可能となります。

1－(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

●要望事項

- 1 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進（出口付近の4車線化早期整備）（P17 参考資料①）
- 2 市立病院前交差点の国道276号線（支笏湖通り）の3車線化（P17 参考資料②）
- 3 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討（P17 参考資料③）
- 4 通行車両の安全確保のための鹿対策の実施
- 5 市道沼ノ端勇払線の安全対策の実施（拡幅整備、路面舗装整備）（P17 参考資料④）

●目的と効果

- 目的 1・2021年に開通した中央インターチェンジは、コロナ禍においてもその高い利便性から交通量が増加しつつあります。また付近の沿道では土地利用規制が見直されるなど、今後更に交通量増加が予想されることから、緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間の高丘地区への4車線拡幅整備により、安全で円滑な交通が確保されます。
- 2・道道苫小牧環状線から国道276号線の緑跨線橋側への左折レーンは1車線しかなく、交差点付近は車線変更を行う車が混雑しています。歩車分離式信号の導入や、市立病院駐車場側への直進車線を左折も可能に変更するなどの対策を行うことで、混雑が解消・緩和され、自動車事故の減少や歩行者の安全が確保されます。
 - 3・本市は、東西にかけて鉄路が走り、中野跨線橋から港跨線橋間の約4.2kmには鉄路をまたぐ方法がなく、いずれかの跨線橋に迂回して移動する必要があります。現在、海側には多くの製造業や物流関連企業が進出し、多数の従業員を抱え、さらに、臨海北通は交通量も多いことから、災害時における人と車両の鉄北方向への避難路を確保することにより地域の安全性が向上します。
 - 4・近年、鹿の生息数の増加により鹿と車両の接触による交通事故が多発しております。特に勇払橋付近及び苫東地域の市道での出没が多く、また、街路灯の設置が少ないため、回避行動が遅れるといった意見を聞いております。鹿の捕獲活動や鹿対策の実施により、事故を未然に防ぎ安全の確保が期待されます。
 - 5・市道沼ノ端勇払線は、市中心部と勇払方面を結ぶ生活道として利用されているほか、臨海企業の輸送道路としても使用されており、大型車両が多く通行しています。路幅が狭く路面に穴が開くなど痛んでいる箇所が目立つため、未然に事故を防ぐための整備を要望します。

効果 ・円滑な交通、利便性向上及び災害時における安心安全の確保が期待できます。

1-(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

●要望事項

- 1 東港区機能伸展のためのインフラ整備として
 - ・上下水道設備の充実及び強化 (P18 参考資料⑤)
- 2 周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備 (P18 参考資料⑥)
- 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備 (P18 参考資料⑦)

●目的と効果

- 目的**
- 1 ・東港区を含む安平川から東側のエリアは苫小牧市の給水区域に入っておらず、胆振東部地震の際には、断水復旧までに約1ヶ月の期間を要するなど、復旧を市が主導できない状況となりました。
 - ・東港区のインフラ整備を行うことで、災害時の対応能力強化と物流機能維持が図られます。
 - ・また2020年6月から大型冷蔵冷凍倉庫が稼働し、同倉庫と連携した食関連事業の集積が期待されるなか、企業の進出を後押しし、付加価値の高い物流拠点形成の促進が期待されます。
 - 2、3 ・公共埠頭では混雑が恒常化し、船舶の滞船や不必要な横持ち*が生じるなど、非効率な荷役を強いられており、北海道胆振東部地震においても、災害支援船が利用岸壁の変更・移動を余儀なくされるなど、岸壁の不足が深刻な状況となっております。
 - ・大規模自然災害等に備えた耐震・防災機能強化と荷役作業の効率化により、船舶の混雑・停船の緩和が図られ、物流コストの削減や港湾労働者の労働生産性向上、地域産業の競争力強化に繋がります。
- 効果**
- ・物流の効率化と苫小牧港区の更なる発展が期待できます。

※横持ちとは

- ・特定の場所に置かれた貨物を別の場所などに移動すること。
- ・混雑により、荷役事業者が希望するふ頭を利用できないケースが発生しており、離れたふ頭を利用しなければならず、目的地まで陸路での輸送を余儀なくされている。

1-(5) カーボンニュートラル社会実現に向けた取組の推進

●要望事項

苫小牧市は、北海道随一の産業都市であり、かつ人間環境都市を宣言している。また、苫小牧市第4次環境基本計画～第1期ゼロカーボン推進計画～において「産業全体でのゼロカーボンを目指し、環境と経済の好循環を実現」を目標に掲げており、カーボンニュートラル社会の早期実現が求められている。

については、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、「脱炭素先行地域」の選定を目指すなど、北海道における「産業・物流の重要拠点」である自覚を持った積極的な取組みを進めることが重要である。さらに関連企業・研究所・実証実験等の誘致と地元企業の参入を進める必要がある。以上のことから、下記の事項について施策を推進するよう強く要望する。

◆カーボンニュートラル

1. カーボンニュートラル社会を先導する、世界に誇れる環境都市を目指すため、その第一歩として「脱炭素先行地域」の選定を受けるとともに、関連する産業一体となって諸施策を実施していくこと。
2. カーボンニュートラル社会実現に向けた中期、長期的なロードマップと各主体の役割を明確にした包括的なグランドデザインを早期に策定すること。
3. カーボンニュートラルに取り組む企業に対する各種施策を実現すること。
 - (ア)カーボンニュートラルに取り組む企業の相談・支援体制の充実
 - ①カーボンニュートラル支援センター（仮称）の設置
 - (イ)カーボンニュートラルに取り組む企業への補助制度の創設
 - ①Z E H・Z E Bによりオフィスビルや住宅、工場の省エネ設計・構造化を補助する施策
4. 苫小牧市が北海道におけるグリーン水素の製造・利活用の拠点になりうるべく、足元でできることから着実に歩みを進めること。
 - (ア)苫小牧市役所主導による各種設備の設置
 - ①小規模レベルの再生可能エネルギーによるグリーン水素製造装置を配備
 - ②グリーン水素社会に呼応すべく水素ステーションを市内に1か所新設
 - ③新たな公共交通機関として市営のF C Vバス導入
 - (イ)公用車のF C V化
 - (ウ)民間投資を促進するF C Vトラック・F C Vフォークリフト等の導入補助制度の創設

◆エネルギー安全保証と安定供給

5. エネルギー安全保障と安定供給の確保のため各種施策・要請を実行すること。
 - (ア)エネルギー燃料の安定供給確保に係る事業者への補助制度の創設
 - (イ)苫小牧の地域特性を生かした次世代エネルギー発電施設等の整備並びに送電網に係る事業者への補助制度の創設
 - (ウ)原子力発電の速やかな再稼働に向けた対応を国・道へ強く要望

2-1) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

●要望事項

物流車両の安全確保のための整備

- 1 市道の管理強化 道路・縁石整備（臨海北通、道道259号線）

●目的と効果

目的 1・臨海北通道道259号線のナラサキスタックス(株)沼ノ端物流センター前北側の道路は、構内から大型車両等が出入りする道路になっており、道路の陥没や縁石に穴が開くなど段差が生じている状況です。大型車両の通過時には車体に衝撃が発生し、損傷や貨物の転倒・転落する可能性があるなど大変危険な状態のため、道路や縁石の整備を要望します。

効果 ・安心安全な物流、利便性向上に繋がります。

2-2 移住者増加のための施策

●要望事項

移住者増加のための苫小牧市独自施策の展開

- 1 市外・道外で移住を考える人に向けた苫小牧の魅力発信
- 2 創業・スタートアップへの独自支援策の展開

●目的と効果

- 目的
- ・苫小牧市の人口は、9年連続減少し続けており、少子高齢化が急速に進行していることによる自然減がとどまることが無い現状にあります。現状を打開するためには、転入者（社会増）を増やす必要があると考えます。
- 1 市外・道外で移住を考える人に向けた苫小牧の魅力の発信により、転入者増加が期待できます。
 - 2 移住創業者に特化した独自支援策ができることで、人口増加や事業者同士のイノベーションの機会が期待できます。
- 効果
- 1 苫小牧の自然・交通・公共物など住みやすさを広く発信していくことにより、転入者増加が見込まれます。
 - 2 移住創業者向け支援策を充実させることにより、人口社会増及び地域活性化に繋がります。

2-(3) 多文化共生社会の推進

●要望事項

ダイバーシティ相談窓口の設置

●目的と効果

LGBTQ+、外国人など、俗にマイノリティと呼ばれる方々は様々な葛藤により心に問題を抱える傾向にあります。将来的には交流の場が必要ではあるものの、気軽に相談できる場所が少ない現状です。苫小牧市ではパートナー制度や日本語学校開校など将来的にマイノリティの市内人口が増えることが見込まれることから、ダイバーシティ相談窓口の設置を要望します。

2-(4) 持続的な地域価値向上を図るための財源確保

●要望事項

ふるさと納税の更なる強化並びに寄付金の子育て支援への活用推進

●目的と効果

苫小牧市総合計画第6次基本計画の実施計画としてふるさと納税普及事業の記載があるように、稼ぐ自治体として、ふるさと納税プロジェクトチームや部署を新設し、財源を確保することに特化したセクションがあっても良いと考えております。財政の基盤が確立されることで他地域より優れた事業展開が可能となります。

さらに、少子高齢化が喫緊の課題となっている現状ですので、従来の使い道にとらわれることなく寄付金の積極的な子育て支援への利活用を要望致します。

3-(1) 苫小牧を支える企業への支援策

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答実現性	回答速度
20033	公共事業予算枠確保	建設業部会	A	A
20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	建設業部会	A	A
20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と物価変動に対応した発注金額の適正化	建設業部会	A	A
20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	建設業部会	A	A
20038	指定管理者に対する地場活用の推進	製造業部会	A	A
20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	会議所	B	A
20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	会議所	A	B
20052	店舗改装補助金の回数制限の撤廃	商業部会	A	A
20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	建設業部会	A	A
22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	食品飲食業部会/商業部会	A	A
23008	地産地消に取り組む事業者への支援	食品飲食業部会	D	D
23012	オフサイトPPA事業の支援拡充	地域振興委員会	A	A

●目的と効果

苫小牧地域を支える企業への各種支援策により、持続的に発展できる環境の維持、整備が可能となり、急激な外部環境の変化に対応するための素地が維持されます。

3-(2) まちづくり・防災対策

●要望事項

No.	要望項目	会議所担当部会	回答実現性	回答速度
20014	公的津波避難施設設置の推進	建設業部会	A	A
20027	多文化共生社会の実現へ向けた施策の推進	食品飲食業部会	A	A
20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ゼロカーボンシティ実現に向けた、街路灯LED化の促進	商業部会	A	B
20054	商業利用に対する空家等解体補助金の対象拡大	商業部会	C	C
20055	勇払前浜地区の整備活用	地域振興委員会	B	B
21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	会議所	B	C
21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	食品飲食業部会	C	C
21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	食品飲食業部会	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)
21014	市外企業の市内進出、移転及び支店設立等の検討に係る視察費用の負担制度創設	サービス業部会	C	C
21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 市民のITリテラシー向上による情報格差解消に向けた取り組み推進	食品飲食業部会	D	D
23001	苫小牧駅周辺への学生が交流できる商業集積のまちづくり計画の策定	商業部会	C	C
23002	苫小牧駅周辺への保育施設の拡充	商業部会	D	D
23003	バス停留所の環境改善	商業部会	B	C

No.	要望項目	会議所担当部会	回答 実現性	回答 速度
23006	急傾斜地の崩壊や地すべり等に関する土砂災害対策の早期構築 苦小牧川流域、有珠川流域の土石流危険個所の土砂災害対策	建設業部会	D	D
23014	防潮堤建設の検討	地域振興委員会	D	C

●目的と効果

生活基盤を支える商店街やコミュニティの維持・存続に関する支援体制の拡充、強化により、持続可能で、災害に強く、東西バランスを考慮したまちづくりの推進が期待できます。

3-(3) インフラの整備（道路・港湾・空港・鉄道・電力など）

● 要望事項

No.	要望項目	会議所 担当部会	回答 実現性	回答 速度
20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	運輸交通部会	B	C
20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	運輸交通部会	B	C
20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	運輸交通部会	B	B
20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	運輸交通部会/建設業部会	B	C
20059	美沢錦岡通の早期整備	建設業部会/運輸交通部会	B	C
20060	臨海東通の早期整備	建設業部会/運輸交通部会	B	C
20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	建設業部会/運輸交通部会	C	C
20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	サービス業部会	A	B
20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上(2次交通アクセスの充実)	地域振興委員会	B	C
20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	地域振興委員会	B	C
20075	苫小牧東部地域の特性を活かし、苫東GXHUB構想の実現にむけ、「エネルギー・デジタル・フード」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援(エネルギー・デジタル・フード・物流・ドローン・自動走行関連事業、地域マイクログリッド事業、CCUS事業)	地域振興委員会	C	C
20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	地域振興委員会	C	C
20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	運輸交通部会	C	C
20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	運輸交通部会	C	C

No.	要望項目	会議所 担当部会	回答 実現性	回答 速度
20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	運輸交通部会	C	C
20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整備)	建設業部会/運輸交通部会	B	C
20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	建設業部会/運輸交通部会	B	C
20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れた白鳥王子アイスアリーナの改修	建設業部会	B	C
20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	地域振興委員会	D	C
20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	地域振興委員会/建設業部会	B	C
20121	明野南通の6車線化及び、道路の整備	運輸交通部会	C	C
22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置	運輸交通部会	C	C
23010	物流車両の安全確保のための整備 市道の管理強化 道路標識の整備、新規設置、 街路樹や草木の剪定・伐採 (苫小牧バイオマス発電所周辺など)	運輸交通部会	A(緑地、維持) C(市民、港湾)	A(緑地、維持)C (市民) D(港湾)

●目的と効果

市や関係機関への働きかけを強化することにより、インフラ整備が促進されます。

3-(4) 雇用・人材育成

●要望事項

No.	要望項目	会議所 担当部会	回答 実現性	回答 速度
20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	運輸交通部会	B	B
20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の充実	食品飲食業部会	D	D
23015	保育・介護環境整備による女性の社会進出推進 介護・保育に関する人材教育支援制度の充実	女性会	C	C
20024	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブの有効活用及び周知推進	建設業部会	A	A
20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	サービス業部会	B	B
22007	児童発達支援事業の拡充	青年部	C	C
23011	市内中心部への国立大学工学部の誘致	地域振興委員会	D	D

●目的と効果

生産人口の減少により、深刻な人材不足が喫緊の課題であり、雇用の安定・拡大、地元人材の育成・確保、地元人材育成に必要な施設の維持などが強く求められることから、各種施策の推進により、多様な人材確保と育成ができる環境整備が可能となります。

3-(5) 交流人口の増加と観光振興

●要望事項

No.	要望項目	会議所 担当部会	回答 実現性	回答 速度
20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	会議所	D	C
20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	会議所	D	C
20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進及びイベント開催の促進	サービス業部会	C	C
20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生象徴空間「ウポポイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	サービス業部会	B	B
20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	食品飲食業部会	A	A
23019	市内大規模イベントへの民間活用の推進	会議所	C	C

●目的と効果

自然・食・文化・産業などの地域資源を活かし、各種施設の有効活用、新たな観光ルートの発掘と発信、統合型リゾート誘致などの取組により、誘客促進と交流人口増加が期待できます。

4 参考資料

P3 参考資料① 参考資料②

1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

1 高丘地区への4車線拡幅整備



2 国道276号線の3車線化



P3 参考資料③ 参考資料④

1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

3 臨海北接続道路新設



5 市道沼ノ端勇払線の安全対策の実施



P4 参考資料⑤ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

1 上下水道設備の充実及び強化 (苫小牧市新水道ビジョン：給水地図)



P4 参考資料⑥ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

2 周文ふ頭岸壁の早期整備



P4 参考資料⑦ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備



P10 参考資料⑧ 3 継続要望事項 (3) インフラ整備 (道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

20059 美沢錦岡通の早期整備

20060 臨海東通の早期整備



P11 参考資料⑨ 3 継続要望事項 (3) インフラ整備 (道路・港湾・空港・鉄道・電力など)

20094 市道東部南通線の路肩を含めた道路整備 (高潮による通行止めの際の整備)

20095 勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定 (河口部)



22004 国道 36 号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置



5 部会別索引

担当部会	分類	No	2024年度 要望事項	回答 実現性	回答 速度	ページ
商業部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	1
	継続	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A	10
	継続	20052	店舗改装補助金の回数制限の撤廃	A	A	10
	継続	23001	苫小牧駅周辺への学生が交流できる商業集積のまちづくり計画の策定	C	C	11
	継続	23002	苫小牧駅周辺への保育施設の拡充	D	D	11
	継続	23003	バス停留所の環境改善	B	C	11
	継続	20050	繁華街・地域商業地区の整備促進 ゼロカーボンシティ実現に向けた、街路灯LED化の促進	A	B	11
	継続	20054	商業利用に対する空家等解体補助金の対象拡大	C	C	11
食品飲食 業部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	1
	継続	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A	10
	継続	23008	地産地消に取り組む事業者への支援	D	D	10
	継続	20027	多文化共生社会の実現に向けた施策の推進	A	A	11
	継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	C	C	11
	継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B (政策) C (港湾)	B (政策) C (港湾)	11
	継続	21016	デジタル技術を活用した行政サービスの積極的な導入 市民のITリテラシー向上による情報格差解消に向けた取り組み推進	D	D	11
	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の充実	D	D	15
継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	16	
製造業 部会	重点	21017	カーボンニュートラル社会実現に向けた取組の推進	C	C	5
	継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	10

担当部会	No	分類	2024年度 要望事項	回答 実現性	回答 速度	ページ
建設業 部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	1
	重点	21008	周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備	C	C	4
	継続	20033	公共事業予算枠確保	A	A	10
	継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	10
	継続	20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と物価変動に対応した発注金額の適正化	A	A	10
	継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	10
	継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	10
	継続	20014	公的津波避難施設設置の推進	A	A	11
	継続	23006	急傾斜地の崩壊や地すべり等に関する土砂災害対策の早期構築 苫小牧川流域、有珠川流域の土石流危険個所の土砂災害対策	D	D	12
	継続	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	13
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	13
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	13
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整備)	B	C	14
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	B	C	14
	継続	20113	札幌冬季オリンピック・パラリンピックのサテライト開催を視野に入れた白鳥王子アイスアリーナの改修	B	C	14
	継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	14
	継続	20024	とまジョブ登録企業向けの合同企業説明会の開催等とまジョブの有効活用及び周知推進	A	A	15
サービス 業部会	継続	21014	市外企業の市内進出、移転及び支店設立等の検討に係る視察費用の負担制度創設	C	C	11
	継続	20065	利便性を高める市内公共交通機関の交通体系の見直し	A	B	13
	継続	20026	介護・社会福祉法人への就職促進及び施設利用者の就業支援	B	B	15
	継続	20099	キラキラ公園の憩いの場としての更なる日常利用促進及びイベント開催の促進	C	C	16
	継続	20103	苫小牧市西側の観光資源(樽前山・アルテン)と民族共生象徴空間「ウポポイ」を連携した広域観光ルートの整備促進	B	B	16

担当部会	No	分類	2024年度 要望事項	回答 実現性	回答 速度	ページ
運輸交通 部会	重点	20064	1 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進(出口付近の4車線化早期整備)	B	C	3
	重点	20064	2 市立病院前交差点の国道276号線(支笏湖通り)の3車線化	B	B	3
	重点	20087	4 通行車両の安全確保のための鹿対策の実施	B	C	3
	重点	20115	3 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討	D	C	3
	重点	21008	周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備	C	C	4
	重点	20086	1 東港区機能進展のためのインフラ整備 ・上下水道設備の充実及び強化	D	D	4
	重点	20092	3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	C	C	4
	新規	24001	物流車両の安全確保のための整備 市道の管理強化 道路・縁石整備(臨海北通 道道259号線)			6
	継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施	B	C	13
	継続	20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	B	C	13
	継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	B	B	13
	継続	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	13
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	13
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	13
	継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	C	C	13
	継続	20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	13
	継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	14
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	13
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整備)	B	C	14
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	B	C	14
	継続	20121	明野南通の6車線化及び、道路の整備	C	C	14
	継続	22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置	C	C	14
	継続	23010	物流車両の安全確保のための整備 市道の管理強化 道路標識の整備、新規設置、街路樹や草木の剪定・伐採 (苫小牧バイオマス発電所周辺)	A(緑地、 維持) C(市民、 港湾)	A(緑地、 維持)C (市民) D(港湾)	14
継続	20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	15	

担当部会	No	分類	2024年度 要望事項	回答 実現性	回答 速度	ページ
地域 振興 委員会	重点	20001	「苫小牧駅周辺ビジョン」に基づいたにぎわい創出事業の推進	C	C	1
	重点	20003	旧サンプラザビルに関する権利集約の早期実現	C	C	1
	重点	20004	旧サンプラザビル・駐車場施設の公費投入も考慮した早期解体	C	C	1
	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	1
	重点	23013	市道沼ノ端勇払線の安全対策の実施 1. 拡幅整備 2. 路面舗装整備	A	A	3
	継続	23012	オフサイトPPA事業の支援拡充	A	A	10
	継続	20055	勇払前浜地区の整備活用	B	B	11
	継続	23014	防潮堤建設の検討	D	C	12
	継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上 (2次交通アクセスの充実)	B	C	13
	継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	13
	継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かし、苫東GXHUB構想の実現にむけ、「エネルギー・デジタル・フード」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援 (エネルギー・デジタル・フード・物流・ドローン・自動走行関連事業、地域マイクログリッド事業、CCUS事業)	C	C	13
	継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	C	C	13
	継続	20117	南北交通アクセス向上のためのJR線の市街高架化	D	C	14
	継続	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上	B	C	14
継続	23011	市内中心部への国立大学工学部の誘致	D	D	15	
女性会	継続	23015	保育・介護環境整備による女性の社会進出推進 介護・保育に関する人材教育支援制度の充実	C	C	15
青年部	新規	24002	移住者増加のための苫小牧市独自施策の展開 ①市外・道外で移住を考える人に向けた苫小牧の魅力発信 ②創業・スタートアップへの独自支援策の展開			7
	新規	24003	ダイバーシティ相談窓口の設置			8
	新規	23017	ふるさと納税の更なる強化並びに寄付金の子育て支援への活用推進			9
	継続	22007	児童発達支援事業の拡充	C	C	15
会議所	重点	21001	事業継続を図る中小・小規模事業者に対する事業継続や経営力強化に対する支援	C	C	2
	重点	21005	ウィズコロナやアフターコロナを前提とした社会経済活動への移行推進	A	A	2
	重点	21006	コロナ禍に立ち向かい、成長を目指して挑戦する中小・小規模事業者への支援	B	A	2
	継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	B	A	10
	継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業補助金の拡充	A	B	10
	継続	21009	苫小牧市の特性を活かした新たな産業や事業の創出	B	C	11
	継続	20007	統合型リゾート誘致活動の継続 北海道と連携したIRコンセプトの策定	D	C	16
	継続	20009	苫小牧都市再生コンセプトプランにおけるプロジェクトの推進	D	C	16
	継続	23019	市内大規模イベントへの民間活用の推進	C	C	16

